マメ科山野

【局】葛根 /【生】葛花 かっこん・かっか

肥大化根 / 花 夏か秋 / 夏 (民) 風邪の初期、鎮痛、 / 二日酔い、(漢) 漢方処方

[生育地と植物の特徴]

日本全土、朝鮮半島、中国、ウスリーほか、東アジア温帯地方に分布。日当たりのよい林の縁や山野に生える蔓性多年草。 蔓茎は長く丈夫で農家でザル・カゴ・モッコに編まれた。 葉は三出複葉で葉の裏面は白っぽい。 紅紫色の蝶形花が長さ 10~15cm の穂になり、下の方から咲き出して葉陰から立ち上ってくる。

[採取時期・製法・薬効]

葛根:11-12月の地上部が枯れ始めた頃、肥大した根を掘りあげ、 水洗いして外皮を剥ぎ、薄く切って天日で充分乾燥させる。

葛花:花は夏に採り陰干しにする。

❖風邪、神経痛に

葛根一日量 8~15g を水 400ml で半量に煎じ、3 回に分けて 温めて飲む。

❖二日酔いに

乾燥させた花 5g 程に水 300ml を加え煮立ったらカスを取り去って飲む。

❖葛粉に

含まれるデンプン質が最も豊富な冬に葛根を掘り採り、叩き潰して水に溶かし、布袋で繊維質を除き、掻き混ぜては沈殿させて 上澄み液を捨てることを繰り返し、最終的には真っ白な葛粉が得られる。 [漢方処方(葛根)] 産地は、中国、韓国、群馬県、徳島県、鹿児島県、福岡県など。処方は、葛根湯(薬)、葛根加朮附湯(薬) など。



昔、奈良県吉野郡国栖 (くず) の商人がこの植物の根から採れる粉を売り歩いていたのでこの名がある。クズは生存力が強く 分枝が多く、あたり一面を覆いつくす。クズにからまれた樹木は成長も止まるぐらいで植林にとっての大敵である。

参考:薬草事典、長崎の薬草、新佐賀の薬草、宮崎の薬草、薬草カラー図鑑1、牧野和漢薬草圖鑑、生薬学、生薬処方電子事典

カワラナデシコ 川原撫子 ナデシコ科 山野

【生】瞿麦草 くばくそう

地上部、種子 秋 (民)利尿、通経、月経不順 〔漢〕漢方処方

[生育地と植物の特徴]

本州、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布。昔から日本に自生している。茎は根元から数本出て、下部は細くやや倒れ先の方は立ち上がる。葉は線形で細長く対生して両方の基部がくっついて茎を抱く。夏から秋にかけ長期にわたってピンクの花を咲かせ続ける。

[採取時期・製法・薬効]

7-9 月花が咲いている時に地上部を刈り採り、水洗いして数本ずつ束ね、日陰で風通しの良いところに吊して乾燥させる。種子は9月頃地上部を果実ごと採取し日陰でからからに乾燥させる。乾燥したら手で揉んで黒い種子を寄り集める。集めた種子は1-2 日間天日で充分に乾燥させる。

❖浮腫のときの利尿に、通経薬として月経不順に

乾燥品(瞿麦草)を小さく刻み5~10gを水600mlで半量になるまで煎じ一日3回に分けて飲む。種子(瞿麦子)は一日量3~6gを水150mlで半量に煎じ3回に分けて服用する。

[漢方原料(瞿麦草)]

産地は、中国。処方は、栝蔞瞿麦丸、瞿麦湯、立効散(薬)、 八正散。専門家向きで、一般には使わない方がよい。



秋の七草に詠まれている撫子である。河原などに生え花の形や色がやさしく可愛いことから、撫でるほどかわいい子にたとえたものという。観賞用の唐ナデシコは平安の頃に渡来したが、これと区別するために大和ナデシコあるいは河原ナデシコと呼ばれるようになった。ナデシコには2種あって、本州中部以北にはエゾカワラナデシコが生育する。